

楽人

2011 July
Vol.45



特集

谷岡学園グループ
平成22年度の事業報告

<http://www.tanigaku.ac.jp/>



学校法人 谷岡学園
TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

楽人

Gaku
jin

contents

特集 ● 平成22年度 谷岡学園グリー・プ事業報告

大阪商業大学／神戸芸術工科大学

大阪女子短期大学／大阪商業大学高等学校

大阪商業大学附属幼稚園／至学館大学・短期大学部・大学院

至学館高等学校／至学館大学附属幼稚園

株式会社 ティジー・テック／U・コミュニティホテル

株式会社 神戸デザインクリエイティブ

トピックス

東日本大震災への支援活動

神戸芸工大 大学機関別認証評価「認定」

キャンパス整備計画・報告

省エネへのご協力について

ニュースファイル

「春の叙勲」中井節雄常務理事が瑞宝小綬章を受章

大商大 教育研究環境整備資金寄附金事業のご報告

神戸芸工大 若手デザイナー登竜門「サローネ・サテリテ」に出演し高い評価

大阪女子短大 「はたるのゆうべ」に1,400名が参加！

大商大高校 東大阪市民ふれあい祭りのオープニングパレードに参加しました

大商大堺高校 運動部の生徒が町内清掃に参加しました

大阪幸姫太子大堺高校 短大ボランティア部、堺高の生徒が防犯キャンペーンに参加しました

大阪女子短大高校 コミュニケーションキャンプで仲間づくり

大商大附属幼稚園 大商大高校の運動会に参加しました！

各校クラブ活動等の活躍

● 平成22年度 学校法人谷岡学園 決算報告

- クオリティ・オブ・ライフ～産業医という仕事をご存知ですか？（各校の主な予定（8月～11月））

編集室コラム

(15)

(13)

(11)

(10)

(2)

谷岡学園グループ 事業報告

総務部門

組織運営の健全化・効率化

近年、公共性・公益性的の高さを鑑み、学校法人に對して財務状況を含むさまざまな情報の公開が求められています。本学園では、学園の発展に向けて、学園構成員全体の理解・共通認識を図るべく取り組みます。今号では、谷岡学園グループの事業報告と谷岡学園の決算報告を掲載します。

- ①監査室設置：平成23年度から開設した監査室の諸準備を行いました。
- ②決裁システムの再構築：平成21年度に導入したワークフローシステムの新たな展開として、役員の出張関連帳票の導入を完了しました。教員については、大商大にて人事に係る一部の調査を先行導入し、随時、各設置校の要望のもと、導入していく予定です。

- ③危機管理の啓発推進：各設置校において防犯教室（訓練）を実施しました。

施設・設備計画推進

- ①耐震補強工事…マスターープランに基づき、順次耐震補強工事を実施し、学園全体で5棟の耐震補強工事に着手し竣工しました。
- ②教員研究環境の整備…大商大では、老朽化した研究棟を新築し、入学生対象の学生寮を改修しました。大商大高校では、校舎増築工事を行い、平成23年6月に竣工し引渡しが行われました。また、大商大高校では、駐車場整備及び正門付近のリニューアルを実施しました。

設置校広報支援の充実

- ①公共交通機関主要駅（近鉄大阪難波駅、JR大阪駅、近鉄大阪阿倍野橋駅）に谷岡学園グループの看板を掲出しました。
- ②高等学校及び幼稚園のHPをリニューアルし、携帯サイトの導入を行いました。
- ③シンボルマーク・カラーの商標登録に係る出願申請とともに、グループ会社のマーク・カラーを制定し、封筒等のステーショナリーのデザインを決定しました。

人事部門

平成22年度は、21年度に引き続き教員の人事制度の改革に取組んだ年となりました。

主要な取組みとしては、大商大と芸工大に於ける教授の定年年令及び賃金体系の改定案の策定、高校における教員の時間管理基礎データの集約などがあげられます。大学教員の定年年令見直しについては、再雇用制度、早期退職優遇制度・賃金制度改訂・退職金制度、教員評価制度などとトータル・パッケージで、また長期的な展望をもつて、しくみを構築していくことが肝要です。一方、高校における時間管理の検討についても、学校評価とも連動した教員評価制度や、新たな賃金制度の構築まで展望に入れた施策と位置付けられるものです。

専任職員については、新人事制度定着の推進を行いつつ、賃金制度の運用、賞与に係わる業績評価・昇給額の決定など、スマートな実行に努めました。また、CS理念・方針を構築し、これをテーマとした評価者訓練・階層別研修・新人研修も計画的に実施し、構成員の意識改革・他大学との差別化推進を目指しました。

また、福利厚生・健康管理の分野に力点をおき、構成員の帰属意識の高揚を目指しとて、次の施策を行いました。

- ・宿泊施設の新規業者企画の導入
- ・健康管理の促進・定期的情報発信
- ・セクハラ・パワハラ対策セミナー実施、ヘルpline設置
- ・生涯生活充実・設計セミナーの開催（継続）
- ・人事管理に関しては、適正かつ効率的なシステムの構築に努め、電子決裁システム導入展開（第二期）と非常勤講師に係る雇用契約への変更を実施しました。

財務部門

新財務システムの運用

下期より財務システムに備品管理機能を追加し、固定資産に係る備品管理の利便性を図りました。また、大学短大向けに学費自動収込機能の追加、高校向けに諸費会計システムの導入と関連業務の移管を行い、事務の効率化を進めました。更に、平成22年度は財務システムの稼働状況の検証年度として、各設置校へのヒアリングを実施し、平成23年度に向けた機能追加などの改良案の策定を行いました。

施設・設備改修資金の確保

耐震補強などの施設・設備改修工事における資金調達について、学園財務の安全性、消費取扱状況の健全性を考慮した施設・整備資金に係る借入計画を策定しました。下期においては、借入計画に基づき、施設・設備改修工事の実施しました。また、借入利息の抑制策として、有価証券満期償還資金や支払保留資金において、定期預金の有利な運用を行いました。

財務情報公開・内部統制の整備

財務情報の適切な公開に向け、ホームページでのわかり易い情報提供の工夫のために、図表や解説などを入れたレイアウトの検証を行いました。また、私立学校法及び学校会計基準の改正を踏まえ、監査法人並びに監事との有機的な連携を図りながら、期中監査、決算監査、監査報告会を行うとともに、各設置校での現物監査を一部開始することとしました。更に、関連会社（U・コミュニティホール、株ティジー・テック、株神戸デザインクリエイティブ）において定期監査を開始し、監事と連携した監査報告会を行い、指摘事項への対応を促しました。

学校法人谷岡学園は、建学の理念に基づく教育研究を積極的に推進し、各設置校における教育・研究活動の充実を具現化する事業計画について、設置校と調整を図りながら推進しました。今後も、資金運用や遊休資産の処分等を含め、中長期的な財務バランスを視野に入れ、学園の維持・発展につながる事業の実施に取組んでまいります。



建学の理念及び大学の使命・目的に基づき、次の取組みを行いました。

◆3つの方針を明確化

「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」を明文化しました。3つの方針を入学希望者、学生そして教職員などに周知する活動をすすめるとともに、AO入試では3つのポリシーを用いた選抜を実施しました。

◆教育課程の改編

「カリキュラム・ポリシー」に適う教育課程を編成しました。また、大学院の教育課程を地域経済政策専攻及び経営革新専攻の相互履修を可能とする内容に改定し、平成23年度実施を実現しました。

3つの方針と新たな教育課程を、学生一人ひとりが自らの成長の大切さに気づき、自ら学習意欲を喚起させる、「自己開発能力」の養成に関わる教育活動に結び付けるために、「指導」に加えてあらたに「支援」の視点から次の取組みを企画しました。

*就業力育成支援プロジェクト：学生が学ぶ大切さに「気づき」、自己開発に努める、これを教職員が支援する取組み

*キャリア教育：学生がはたらく意義など人間の営為に关心をもち就業感を養う取組み

これらの取組みをすすめる過程で、教職員が新たな課題に直面します。

それは、教員にとっては、学生の「気づき」を促すというこれまでにない忍耐をともなう活動であること、職員には課室をつなぐ強固な連携活動が求められます。日々の活動がすべてFD及びSD活動に繋がりその結果、多くの軋みが生じることが予想されまます。その課題を解決するためには、リーダーシップを發揮する教員、職員を育成することが重要です。

この新たな活動に加えて、「ファイールドワークを用いた演習」は、今後も恒常的に実施する体制を整えました。意欲ある学生を育成するうえで効果ある取組みであると判断した結果です。

この新たな活動に加えて、「ファイールドワークを用いた演習」は、今後も恒常的に実施する体制を整えました。意欲ある学生を育成するうえで効果ある取組みであると判断した結果です。

このよつた全学的取組みに完成と

いう終着点はありません。常に、検証を行い改善・工夫が必要です。そのため、自己点検評価を継続して行う自己点検評価委員会と実施委員会を設置しました。FD委員会と連携して点検評価のPDCAサイクルをまわし、学生の支援体制の充実に努めます。

◆にぎわうキャンパス

神戸芸術工科大学では、先端芸術学部の改組拡充を行い「まんが表現」「映像表現」「クラフト・美術」の3学科としてスタートし、デザイン学部4学科、大学院3専攻とあわせ、在学生、専任教員、事務職員の合計は過去最大となり、2,000名を越え最も活気のあるキャンパスとなりました。

◆教員スタッフと教育研究環境の充実

改組拡充を契機に、更なる教員スタッフの充実と主な教育研究環境整備を行い、先端芸術学部のクラフト領域では

「キャリアアッププログラム」(履修証明プログラム)を募集、デザイン学部はラボラトリの見直しなどを行いました。

大学院は18カ国からなる留学生の増加を契機に教育・研究課程、学位論文の審査、課程修了の認定について検討し、更なる活性化に取組みました。

図書館では新図書館構想の検討として、「アート&デザイン情報図書館」サイトを活用し、カテゴリーの整理、図書検索機能の追加などを実行しました。

また、キャンパス環境の改善と学生の活動施設の充実のため、学生の憩いの場、更には展示空間としても活用できるよう、中庭にウッドデッキと「楷の木」を植えた芝生広場の整備を実施しました。

◆第三者評価の受審

た。

(財)日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受け、「デザイン・アート系大学として、教える側と学ぶ側が共に制作の喜びを享受しながら、建学の理念を具現化する教育実践が深く根付いている」と高く評価され、「評価基準を満たしている」と、平成22年4月1日から7年間の認定を受けました。

◆研究所の活性化

芸術工学研究所は、ユニバーサルデザインを核に、コア研究として「身体知」を研究するなど積極的な活動を行い、研究所発表会においてその成果を公開しました。

また、アジアンデザイン研究所を新設しシンポジウムを開催するなど、アジア地域経済と文化への貢献を柱に活動を行いました。

◆国際交流の活性化

国際デザイン会議クムルスやユネスコの創造都市(21カ国)のデザイン大学と連携を図りながら、バーンズ工科大学(インドネシア)、ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学(ドイツ)と協定を締結しました。また、協定校の拡大に向かって、米国・カナダの大学を訪問しました。

◆地域社会との連携

協定を締結している神戸市、三木市、兵庫県商工会連合会、都市再生機構や様々な企業と産官学連携プロジェクトを展開し、教育研究成果を地域へ還元し、地域社会のニーズに応える取組みを行いました。

大阪女子短期大学

将来へのアプローチ



本学における最大のミッションは、学生募集であり、平成22年度も目標達成に向けた募集戦略を展開し、入学定員充足率は85.9%まで回復しました。この募集戦略と並行して、下期より、本学の知名度拡大や、学生の教育力向上を図るための教育システム改革「60分授業と3学期制（平成24年度より）」に取組みました。

本学の知名度拡大の展開として、緑溢れるキャンパスの美化整備（芝生広場事業等）を行い、学生、グリーンセミナー受講者の方々、子育て世代への支援活動である「絵本広場事業」、藤井寺市との連携による「つどいの広場事業」や「スポーツ交流事業」に加え、本学の自然環境をアピールするための「螢の夕べ事業」も連動させ、多くの方々を学内に迎え入れました。これらの事

業は、地域貢献事業であり、附置研究所による「さかい保育アカデミー」や、教員による食育をテーマとした地域の中学校への出張講義のほか保護者への講義もその一つと言えます。

本学の教育目標の一つである「思いやり」をテーマとしたプロジェクトを立て、『感じる心・伝える心・つながる心』を身につけるプログラム作りをスタートしました。

学生支援事業として、就職支援に取組みました。キャリアサポート室の移設・拡充を行い、キャリアカウンセラーの配置を含め、スタッフを増員し、支援体制を強化しました。授業間の短い時間でもキャリアサポート室を訪れる学生が急増し、結果として就職決定率は微増ではありますが、上昇しました。

平成22年度は、本学の将来像（構想）を導き出すための取組みを行った年であったように思えます。

短期大学の存在価値（意義）の検証を継続的に進め、本学のあるべき姿の機軸を見出したいと考えます。

大阪商業大学高等学校

「共学」と「明るく元気な学校」へ



「共学」と「明るく元気な学校」というイメージが、地元中学校から好意的に受け止められ、定着してきていました。更に、近隣府県にも認知度が高まり、広範囲の中学校からの受験生を迎える事ができるようになってきました。

入学者数は定員数を上回り、女子生徒数も20パーセント台になっています。

この生徒増への対応として、新校舎2階部分（4教室）の先行使用、仮駐輪場の確保を行いました。

生活指導部が「生徒の考えをまず聞くこと」を実践する中で、遅刻総数が年間8,000回を下回りました。

学習指導面では、1学年で簿記検定前に、目標達成に向けてのモチベーションアップ企画として「決起集会」を行ない、検定合格率の向上につなげました。また、3年間でSSを10ポイント上げたプログレスコースの取組みの結果、生徒たちの自信につながりました。

入試広報・ホームページなどの利用で、宣伝・情報伝達がスムーズに行われました。中学校訪問、出前授業、オープンスクール、入試説明会など、それぞれの参加者数が着実に増加しています。

3学年の満足度アンケートの結果では、学校生活満足度83%（満足・やや満足合計）や授業満足度70%とコース満足度から各満足度が最高値となっています。一方、学校評価からは、授業力アップが求められています。

中堅・若手教員対象研修会（教務・生活指導・進路・募集関連・授業作り）を実施、実践講習会を行う中で、学校への思い入れや、自分たちの目指す教育などの点について討議が行われました。

入試広報・ホームページなどの利用で、宣伝・情報伝達がスムーズに行われました。中学校訪問、出前授業、オープンスクール、入試説明会など、それぞれの参加者数が着実に増加しています。

大阪商業大学堺高等学校

社会に開かれた学校づくり

◆目指す学校 基本領域と学習領域として

建学の理念の具体的な人物像に基づき、指導目標である「自学・自律・勤労」を具体的に訓育し、本校生としての自覚を持たせる指導と、地域（近隣小学校・幼稚園等）との交流や連携を通して地域から存在価値のある共学校として、一定の評価をされつつあります。

更に、「心の教育」を本校教育の指針とし、心の反映が人生を変えていくと考え、勤労教育やH.R.指導にも援用し、自信と誇りを持たせる指導を実践しました。また、勤労教育で収穫した作物を調理実習の食材として利用し、偏食の改善等も含め教育を行いました。

学習指導要領に伴うカリキュラム変更については、カリキュラム検討委員会及び教科主任会で、継続して審議を行い、今年度には中間報告が出される予定です。

◆生活指導領域と進路指導領域について

心の反映が人間の礼儀と節度にあらわれると考え、挨拶の励行、マナーの向上を目指し、通学路や校門における登校指導や校則遵守の指導の強化を行うなど、生徒指導が更に大きく改善されました。

また、女子生徒全員に対するマナー講習会の実施や、教育相談（カウンセリング）の時間増も行いました。

進路結果としては、初めて大阪大学医学部に現役合格者を出し、国公立3名、難関私大7名、産近甲龍21名と合格者がでたことは、大きな前進でした。また、系列大学への進学も順調であったと思います。

◆入試涉外領域と教員研修・研究領域

地域の特性に合った入試涉外活動を



重視し、地域に支えられる学校から、地域を支える学校づくりが渉外活動の充実につながると考えていました。そのような観点から地域貢献の

継続を図り、専願者確保に取組み、一定の成果を収めることができました。

更に、クラブ活動の強化により、スポーツコース2クラス（80名）の確保が実現できることは、関係者の努力と評価しています。

教員の資質向上については、公開授業の実施及び多様な生徒への対応の研修にも取組みました。地域住民アンケートも実施し、3ヶ月のまとめとして、総合的な学校評価を行い、成果と課題を明らかにするとともに教職員の共通理解を深めました。

◆経営領域とその他の領域として

建学の理念「世に役立つ人物の養成」の4本柱であらわす、具体的な人物像は、自分が幸せであると同時に、人を幸せにする人物であると考えます。そうした人物を養成する一歩として、生徒、保護者、教職員が明るく楽しいと思える学校づくりに力点を置き、地域の方が快く立ち寄れる学校を目指し、地域住民、保護者や卒業生との連携を強化しました。

一方、社会的組織としての役割を果たすとともに、教職員が一丸となつて危機管理体制を徹底し、組織倫理を有した学校運営に取組みます。

本校における喫緊且つ最大の課題であります生徒募集を、教育内容で公立高校と差別化を図り、奨学金制度で他の私学と差別化を図るという2本柱で対策を進めました。

教育内容に関しては、教育の原点に返ることを合言葉に、全ての生徒の学力向上と規範意識の涵養に重点を置きました。

教育の基本は授業です。分かる授業、分からせる授業を実践することが、教師と生徒の信頼関係の第一歩と捉え、授業の原理原則を守った正しい授業を行ってきました。単元終了ごとの小テストや放課後の学習活動として実践している「勉強クラブ」も定着し、より高いレベルの学習活動を行ってきました。「教えることは伸ばすことを」を実践するために、進路指導部が作成するデータで、生徒の伸びを検証しながら授業を進めています。

全教員が各自の授業についてアンケート調査を実施し、反省材料としました。予定していた公開授業は実施できませんでしたが、次年度の課題とします。

これらの活動の結果、授業に臨む生徒の姿勢が改善されただけでなく、生徒間に健全な競争意識が芽生え、互いに切磋琢磨するようになっています。

規範意識の涵養については、生活指導ポイント制と副担任制で成果を

住民から、生徒の通学態度について好評価を頂いています。

中学校が本校を見る目も明らかに変化してきました。中学生を持つ保護者に本校を見せたいとの申し出をいただき、近隣中学校からの保護者見学バスツアーを実現することができました。

教職員のさまざまな取組みに加え、奨学金制度の反響は大きく、これまで受験のなかつた中学校からも受験生を迎えることができました。

その結果、目標にしていた160名には届きませんでしたが、昨年比1割増の入学生を確保できました。

そのほかの取組みとして、短大高校連携事業の一環として、併設短期大学の授業に高校生が参加できる制度が動き始めました。

今後も、安全・安心な教育環境のもとで、明るく楽しく礼儀正しい大阪女子短大高校生を育て、社会が必要とする学校になることを目指して努力を続けてまいります。

阪女子短大高校生を育て、社会が必要とする学校になることを目指して努力を続けてまいります。



大阪商業大学附属幼稚園

小学校で伸びる子どもを育てる幼稚園へ

◆見えない教育の発信

建学の理念が生きている質の高い幼稚園教育、小学校で伸びる子どもを育てる幼稚園として保護者や近隣に理解を求めてきました。具体的には、子育てサロンや懇談会で子ども達の遊びや生活の中から、例えば、子ども達の「もめごと」「いざこざ」「けんか」などは、たたいた、よしたれへん、遊びのイメージのズレ、ルール違反等の原因からおこり、結果として、その場を立ち去ったり、激しい口論や身体的攻撃を伴うけんかにいたたたり、妥協したり、冗談で終わつたりとやりとりの過程も様々であります。ながらも「おりあい」をつけていくのです。このような出来事は、自分で考え自分で判断する、コミュニケーション力の根っこであることを、エピソードを通して伝えてきました。保育参観では保育に参加してもらい子ども達の成長を実感して、五感を通じた体験が学びや育ちにつながっていることを、感じとつてもらいました。

◆通園バス運行経路の見直し

将来につながる方向性があると判断して、通常の運行経路を逆コースにし、近鉄奈良線を境に南北に分けた2コース



としました。多くのバス希望者の自宅の近くまで行く事ができ、保護者の満足度も得て、バス通園者も増加しました。

◆意味ある子育て支援の実施

平成21年度より、2歳児プレスクール、2歳児親子園庭開放、平成22年度より、カンガルークラブ（親子体験保育）を加え実施しています。プレスクールでは1週間に1・2回午前中、親から離れて過ごします。母親が迎えに来ることを心待ちにして、迎えにきた時の“顔”的表情は何ともいえません。母親も感激の瞬間だと思います。この繰り返しが、親子の絆となって深まっていくのです。また、親子体験では遊ぶ楽しさやおもしろさに気付き、子育てが楽しくなり、親達のコミュニケーションの場ができ、子どもとの育ちや悩みを聞くこともあります。まずは受け止めて共感し、励ましていくという丁寧な支援を実施しました。子育てを不安に思っている方が、誰にも相談する人がいない現実は、地域の子育て支援センターとしての役割と、次の幼稚園教育につながっていくので、今後も引き続き工夫をして実施することが大切と考えます。

◆通園バス運行経路の見直し

将来につながる方向性があると判断して、通常の運行経路を逆コースにし、近鉄奈良線を境に南北に分けた2コース

平成22年度は、本学にとって大きな節目の年となりました。ひとつに「学部改組と男女共学化の実施」があり、それに伴って、長く親しんだ「中京女子大学・中京女子大学短期大学部」から「至学館大学・至学館大学短期大学部」へと校名変更したのです。

また、これを機として学園全体の建学の理念を「人間力の涵養」とし、大学及び短期大学部では「人間力の形成」という教育理念を定めました。

この教育理念のもとで、学生が試行錯誤しながらも各人の“遊びに至る道”を見つけるために、学生への総合的な支援をより充実させていきます。

◆学部改組と男女共学化

大学においては、従前の2学部4学科から1学部3学科へと学部改組を実施しました。施設設備面等でも対応が必要とされました。以前から段階的な準備を行ってきたことで、大きな混乱もなく新体制のスタートを切ることができました。

また、短期大学部も含め、大学全体として男女共学化を行いました。この本学の“新しい姿”を募集面でも前年度から積極的な広報活動をしてきましたので、志願者数を大きく伸ばすことができ、入学者数も増加しました。

そして何より、改組・共学化初年度の新入生たちと、元来の“中女らしさ”を持った在校生たちが共存することと、キャンパス内がよりいつそう明るく賑やかな雰囲気となっています。

◆大府市との包括協定締結

愛知県・知多半島のつけ根に位置



◆就業力育成支援事業への学内体制の整備

文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に関連した具体的な取組みの一環として、「人間力開発センター」を設置しました。

今後は、本学の教育理念である「人間力の形成」と学部・学科等の教育目標を踏まえ、学生が社会的・職業的な自立を図るために必要な能力を培うことができるシステムの構築に着手していきます。

至学館高等学校

「悩める心のケア」と「本当の意味での元気」を促進できる学校に

昨日もフレンドリールームに関係者5名が集まり、2時間半にも及ぶ会議を行いました。「たった一人」の生徒についてですが、私たちの学校にとっては、「唯一無二」の生徒です。長い時間がかかり、終了した午後8時には、全員がぐったりと疲れてしましましたが、いろんな考え方や立場を持つそれぞれが発言し、意見を闘わせることによって、少しずつ少しずつその生徒が抱えている大変な状況が把握でき、まず明日何をしてみるかが見えてきました。勿論、生きている人間のことですので、その方法が誤っているかも知れません。しかし、皆で知恵を出し合うこと、そしてまずはできることをやってみると、それをいつも手探りしていくことが、「チーム至学館」というテーマに向かうための基本であることは疑いのないところです。

専門家の先生に常駐して頂き、小鳥たちが疲れた羽を休める場所を作りたいという共通認識の下に作られたこの部屋でした。しかし、もはやこの部屋はそれだけの需要に留まることがなく、誰もが必ず陥る躊躇や抱える不安をケアしていくだけの「特別ではない場所」としての重要性を確立しています。ともかく丁寧に生徒の話を聞き、何か解決しなければなら

昨日もフレンドリールームに関係者5名が集まり、2時間半にも及ぶ会議を行いました。「たった一人」の生徒についてですが、私たちの学校にとっては、「唯一無二」の生徒です。長い時間がかかり、終了した午後8時には、全員がぐったりと疲れてしましましたが、いろんな考え方や立場を持つそれぞれが発言し、意見を闘わせることによって、少しずつ少しずつその生徒が抱えている大変な状況が把握でき、まず明日何をしてみるかが見えてきました。勿論、生きている人間のことですので、その方法が誤っているかも知れません。しかし、皆で知恵を出し合うこと、そしてまずはできることをやってみると、それをいつも手探りしていくことが、「チーム至学館」というテーマに向かうための基本であることは疑いのないところです。



ない問題がある時は、これまた丁寧に、囁んで含めるように助言をする。その膨大なことばと判断力によつて構築される時間の密度は、他に例えようもないほどです。

このシステムができてから、本校の大好きな意味での「生徒指導」は確実に変化しました。私たちはこの部屋があることで元気をもらい、生徒たちにそれを伝えることができるようになりました。生徒たちも、確實に守られるプライバシーをよりどころにこの部屋のドアをノックするようになっています。

昨年度の成果と言った時、指折り数えることのできることはたくさんあります。何より第一に挙げられるのは現段階での生徒募集の成功。しかし、その宝物が永遠のものではないことも私たちは知っています。だとすれば大切なのは、結果として本校の教育の対象が「強く猛々しいもの」ではなくて、「脆く傷つきやすいが、大きな可能性を持ったもの」へ向いていることなのではないでしょうか。そのようなベクトルが顕在化していることが現在の本校の大きな誇りだと思われます。

その最も顕著な表れが、ここ数年

で一番の欠席・遅刻の減少、そしてそれと相俟つた皆勤生徒の増加であると確信できますし、これこそが平成22年度の本校の最大の成果だと思います。そして今、私たちは大切な生徒たちをより豊かに育て育むために有効な、カリキュラムの制定に向けてまつしぐらです。

至学館大学附属幼稚園

どの子も幸せな幼稚園、楽しい幼稚園をめざして



年少（三歳児）から年長（五歳児）まで三百人余の園児が、毎日「幼稚園樂しかった」、「明日も幼稚園に行きた」と思える幼稚園にするため、平成22年度は左記の三点を重点課題として保育活動を進めました。

◆発達段階に即した豊かな保育内容

幼稚園児の心身の発達には、大きな個人差があります。保育をすすめ

る際は、一人ひとりの発達段階を踏まえて、その子に合った指導をしていま

す。そのうえで、次のような教育活動の構造を具体化して保育活動をしました。

- ①自分の事が自分でできるようになる
- ②仲間と共同の取組みを

—総合活動— ③確かな力を身につける

—課業の指導—

これらの活動を具体化するなかで「楽しい幼稚園」の活動を作つてきました。

◆保護者と力を合わせた活動

子どもたちの成長を豊かなものにしていくために、子育て支援も含め、

して行いました。

- ①学年行事「親子で遊ぼう」（竹馬作り・親子のふれあい遊びなど）。
- ②保育参観日・運動会・あきまつり・劇の会・進級卒園を祝う会などの行事への出席を呼びかけ、子どもたちの成長を伝える取組み。
- ③保護者同士の集まりの場として、お母さんのクラブ活動（テニス部・ヨガ部・洋菓子部・手芸部）、年五回の子育て講座、クラスごとの親睦会を行い、お母さんの間で友達づくりを進めました。

◆地域や大学との連携事業

近隣地域（北山・大府・神田・東山学区）との結びつきを深めるために、公民館祭りへの出展、芸能祭への出演など、地域との連携活動を積極的に進めました。

また、至学館大学・至学館大学短期大学部との連携による、「お料理教室」や「のびのびクラブ（体育活動）」を運営しました。

平成22年度は、これらの事業などにより、教育内容を充実させるとともに、園児募集において、定員を充足することができました。

その最も顕著な表れが、ここ数年で一番の欠席・遅刻の減少、そしてそれと相俟つた皆勤生徒の増加であると確信できますし、これこそが平成22年度の本校の最大の成果だと思います。そして今、私たちは大切な生徒たちをより豊かに育て育むために有効な、カリキュラムの制定に向けてまつしぐらです。

株式会社ティジー・テック

第16期の営業活動について



一年目の成果としては、至学館大学と至学館高校の教職員様に対して団体保険の取扱いを開始することができました。そして現在、至学館大学に対する東大阪キャンパスで培ったノウハウを生かした学生サービスを実施できるよう交渉を進めております。また近隣大学様におきましては東大阪大学様、大阪樟蔭女子大学様、奈良大学様、大阪経済法科大学様へは只今訪問を繰り返しております。

官公庁（大阪府、東大阪市、造幣局）におきましては入札参加ができるようになり、人権研究所におきましては見積依頼を頂けるようになりました。

以上のことから第16期は、計画に対して売上と利益は大幅に増加しましたが、増員したことや寄付やスポンサー協力を行つたことで販売管理費も増加したため、営業利益は計画1,824千円に対して実績1,383千円となり441千円減少しました。



対して実績6,369,095千円となり3,216千円増加しました。営業総利益は計画6,9104千円に対して実績7,5687千円となり6,583千円増加しました。販売管理費は9月から1名増員したことによって人件費が増えたことや、「大阪商業大学教育研究環境整備資金寄附金」に1,000千円寄付したこと、関西六大学野球連盟のインターネット映像配信事業にスポンサー協力として300千円出資したことで7,024千円増加しました。

以上の結果、弊社独自のツアーチームで、比較的景気に左右されにくい団体客を獲得する事が出来ました。さらに、韓国に加え、中国系エージェントとの窓口も開拓。今後の宿泊増が見込まれます。

◆インターネット販売強化

専従者による徹底した予約や残室の管理を実施した結果、需給バランスに合った販売方法を確立する事で、チャレンジを無くし、ホームページや各社予約サイトの内容の充実を図り、新たな顧客開拓に努めました。（2010年度：7,135件、2009年度：6,283件+852件）

◆従業員教育による接客レベルの向上

大手外資系シティホテル経験者2名をフロント責任者として採用し、従業

◆第16期営業実績について

売上高は計画6,369,095千円に対して実績6,9104千円に対して実績7,5687千円となり6,583千円増加しました。販売管理費は9月から1名増員したことによって人件費が増えたことや、「大阪商業大学教育研究環境整備資金寄附金」に1,000千円寄付したこと、関西六大学野球連盟のインターネット映像配信事業にスпонサー協力として300千円出資したことで7,024千円増加しました。

りません。

平成22年度は依然として長引く景気の低迷により、厳しい状況が続きました。

こうした状況下におきまして、幅広い顧客開拓を実施すべく、営業強化と共に従業員教育にも注力致しました。主な取組みは以下の通りです。

◆海外インバウンド客獲得強化

信用度の高い韓国系エージェント数社に絞込み、営業強化を図つて参りました結果、修学旅行他、規模の大きい団体客を獲得する事が出来ました。（ソウル高校：316名）

また、施設見学先の開拓（道の駅・農協直売場・製造工場・老人ホーム他）を進めた結果、弊社独自のツアーチームで、比較的景気に左右されにくい団体客を獲得する事が出来ました。

さらに、韓国に加え、中国系エージェントとの窓口も開拓。今後の宿泊増が見込まれます。

◆インターネット販売強化

専従者による徹底した予約や残室の管理を実施した結果、需給バランスに合った販売方法を確立する事で、チャレンジを無くし、ホームページや各社予約サイトの内容の充実を図り、新たな顧客開拓に努めました。（2010年度：7,135件、2009年度：6,283件+852件）

◆従業員教育による接客レベルの向上

大手外資系シティホテル経験者2名をフロント責任者として採用し、従業

U・コミュニティホテル

平成22年度の活動報告



こうした取組み以外にも各設置校様のご協力を頂き、様々な施設（体育館・教室）を利用しての宿泊客誘致（各種資格試験・スポーツ系・文化系学生団体他）強化のため、大手国内エージェントを中心に積極的営業展開を図つて参りました。

最後になりましたが、谷岡学園グループ企業として、これまで以上に教職員の皆様に愛されるホテルとして、日々努力して参ります。

株式会社神戸デザインクリエイティブ

神戸からオリジナルのアニメを発信

平成22年2月15日(設立)3月から稼働しましたので、実質的には、当期からの活動になります。学園をはじめ、多くの皆様方のご支援、ご協力により事業を推進することができました。現在アニメーション制作事業部(アニタス神戸)のスタッフは、動画職18名、仕上職(デジタル彩色)6名で、アニメーション制作を行っています。

◆具体的活動内容

①企画・運営・コンサルティング事業
(神戸芸工大・神戸市との共催事業)：

②アニメーター養成講座トライアルコース(神戸芸工大広報入試課事業・高校生対象)を実施しました。

◆社会連携・受託事業
①本州四国連絡高速道路株式会社から受注「恋人の聖地」(神戸芸工大事業推進課事業)：淡路SA「恋人の聖地」モニュメントの制作に携わりました。

◆地域貢献・国際貢献事業
①イベント「アニクリーク2010SUMMER」(長田区地域づくり活動助成事業)を開催しました。

②アニメ動画制作体験(南ソウル大学アニメ学科等)を実施しました。(U・コミニュニティホテル等との共同事業)

◆同窓会・卒業生支援事業
①ポスター・チラシ・イラスト等制作において連携しました。

◆制作・販売事業
①アニメーション(动画・仕上)制作。
②プロモーションビデオの制作。
・オキールファミリーPV(神戸市都市計画総局耐震化促進室)協力

◆制作・販売事業
①アニメーション(动画・仕上)制作。
・三国志PV(KOBE鉄人PROJECT)
(協力:神戸芸工大、ラジオ関西)

◆出版・印刷・IT情報発信事業
③「美少女三国志」オリジナルキャラクターデザインを制作中です。

◆出版・印刷・IT情報発信事業
①営業企画ツールとしてオリジナル名刺を制作しています。

◆コンペ・コンクール事業
①アニメーション神戸(神戸市)にて「アニタス神戸賞」を創設しました。

◆デザイン・アート・メディアの教育事業
④アンテナショップ「ギャラリー新長田セレンディップ」の運営：神戸芸工大の先生方や卒業生の作品を展示、販売させていただきました。

◆地域活性化企画(神戸市事業)：観光地・商店街にアニメ企画を展開中。平清盛キー・ビジュアル受注制作完了、同アニメーション受注決定。

◆デザイン・アート・メディアの教育事業
①スキルアップ講座(神戸芸工大キャリアセンター事業)：同大学3年生

対象)を実施しました。

②アニメーター養成講座トライアルコース(神戸芸工大広報入試課事業・高校生対象)を実施しました。



アニメーターOJT関西の様子



美少女三国志オリジナルキャラクターデザイン制作(神戸芸工大卒業生作品)

東日本大震災への支援活動

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本学園では、設置校に在籍する被災された学生やご家族のか、被災者の皆様に対し、様々な支援活動を行っています。

【授業料減免制度】

大商大・神戸芸工大・大商附属幼稚園

災害救助法適用地域に在住の学生に対し、家計支持者が亡くなられた方、家屋が全壊・半壊された方などを対象に学費の減免制度を実施。

【募金活動】

大商大・大阪女子短大・大阪女子短大・大阪女子短大・大阪女大・大阪大堺高校

大商大のボランティア部やボクシング部が、近鉄河内小阪駅にて街頭募金活動を実施。大阪女子短大、大阪女子短大高校、

大商大堺高校などでも募金活動や教職員の義援金活動を実施。集まつたお金は日本赤十字社に寄託しました。

【その他支援活動】

大阪女子短大

・中野学長のご友人である宮城大学井上正康副学長の依頼により、図書館の絵本1~8冊、個人所有の絵本、生活科学科富田先生のゼミで作成した布絵本等を被災地の子供たちへ贈りました。

・宮城県のご自宅で被災された本屋教授が、教員・図書館員、グリーンセミナー受講生が持ち寄った救援物資を車で被災地に運びました。

大商大高校

・デザイン美術コース2年生が制作した「アイデア玩具」を、被災地の支援を行っているNPOなどの団体に贈りました。

神戸芸工大

ビジュアルデザイン学科特別講義「震災に学ぶ」を日本経済新聞の山田康昭氏を講師に迎え、6月8日(水)に開催しました。

環境・建築デザイン学科とブロダクト・デザイン学科の学生によるトークセッション「Talk-Talk-Talk」をいたしました。

できることとはなんぞう」を6月9日(木)に開催しました。

各校では記載の取組みのほか、

様々な支援活動を引き続き行っています。

大商大

・テクニカルアートセンター受講生が持ち

て、被災地に寄付しました。

昭和56年度以前に竣工した建

築物18棟の耐震補強工事を、平成21年度から平成23年度までの3カ年計画として実施し、これまでに11棟の耐震補強工事が完了しました。今年度7棟の耐震補強工事を実施し、各キャンパスの耐震補強工事は終了します。

新校舎は、普通教室・小教室・職員室・事務室など、これまで本館に集約されていた機能を移転させたばかり、400名を収容できる多目的ホールを備えています。

引渡しを受けました。

キャンパス整備計画・報告

◆大商大高校 新校舎竣工

平成22年7月に着工した大商大高校の新校舎の建築工事が、平成23年6月28日(火)をもって竣工

しました。新校舎は、普通教室・小教室・職員室・事務室など、これまで本館に集約されていた機能を移転させたばかり、400名を収容できる多目的ホールを備えています。

引渡しを受けました。

新校舎は、普通教室・小教室・職

員室・事務室など、これまで本館

に集約されていた機能を移転させたばかり、400名を収容できる多

目的ホールを備えています。

引渡しを受けました。

新校舎は、普通教室・小教室・職

員室・事務室など、これまで本館

に集約されていた機能を移転させたばかり、400

に分かれ、町内会区域内の溝掃除や落ちた木の枝や雑草の回収、「ゴミ掃除などを行いました。

この清掃は、日頃お世話になつてゐる地域への感謝の意を込めて、毎年行つてゐるもので、1時間程度の清掃でしたが、精一杯汗を流し充実した朝となりました。

大阪女子短大・大商大堺高校
短大ボランティア部、堺高の生徒が
防犯キャンペーんに参加しました

5月23日(月)に近鉄



おそろいのユニフォームで

また、5月25日(水)には、大商大堺高校の野球部・サッカー部・生徒会の生徒23名が、大阪府警西堺署で堺市が主催の「街頭犯罪被害防止合同キャンペーングループ」に参加しました。

生徒指導部長の松田先生は、「生徒は、地域の方々と触れ合うことができ、日々に『ありがとうございます』といふ言葉をいただいたことなどにとても感激していました。学校としても地域貢献のあり方について学ぶことができ、今後の取組みに活かしていくきたい」と述べられました。

大阪女子短大高校

大阪女子短大高校では、4月17日（日）から2泊3日、滋賀県のマキノパークホテルで1年生のコミニ二ケーションキャランプを行いました。

1日目は、生徒の気持ちを解きほぐすこと
を目的としたプログラミングで、ボールやフラ

フープなどを使った学習を行いました。2日目・3日目はマウンテンバイクで満開になつた桜を見物し、バーモンテークを作りや綱引きなどを行いました。この「ミユ二ケーションキャンプ」は、生徒たちにとつて新しい仲間づくりの場となつています。



皆で飯盒炊さ

大商大附属幼稚園



会に参加しました！

附属幼稚園年長組(5歳児)の園児33名が大商大高校第83回体育祭に参加し、午前中の最終ブローグラムで高校生と一緒にダンスを踊りました。

幼稚園との合同競技は初めての試みとして企画され、事前に幼稚園で高校生と園児と一緒に練習を行いました。



高校生と一緒にダンス

園児たちは本当の兄弟になったかのような高校生のお兄さん、お姉さんたちの優しい眼差しを感じながら、ロシア民謡「タタロチカ」の音楽に合わせて楽しく踊ることができました。また、終了後には高校生におんぶしてもらい退場しました。すっかり打ち解けた園児と高校生の笑顔がとても印象的で

各校クラブ活動等の活躍(2011年4月以降の実績)

● **大阪府** 演武競技男子対武器の部 優勝 国本哲弥(経営学部3年)

● **大阪府** 橋本大祐(経営学部3年)

● **大阪府** ● **ウエイトリフティング部**

第57回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
優勝 69kg級 3位 下原玄太(商科3年)

第67回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会
優勝 69kg級 3位 下原玄太(公営経営学科4年)

第67回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会
優勝 69kg級 3位 丹下雄介(商科3年)

第67回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会
優勝 69kg級 3位 小島将裕(経営学部4年)

第49回西日本大学空手道選手権大会
優勝 kg級 3位 松木卓也(商科4年)

第49回西日本大学空手道選手権大会
優勝 kg級 3位 太田圭祐(経営学部4年)

● **空手道部**

第64回関西学生空手道個人選手権大会
優勝 女子 団体 3位 丹下雄介(商科3年)

第64回関西学生空手道個人選手権大会
優勝 女子 团体 3位 小島将裕(経営学部4年)

第64回関西学生空手道個人選手権大会
優勝 女子 团体 3位 下原玄太(公営経営学科4年)

第64回関西学生空手道個人選手権大会
優勝 女子 团体 3位 太田圭祐(経営学部4年)

● **柔道部**

第65回西日本大学準硬式野球春季リーグ戦
優勝 阪神六大学準硬式野球春季リーグ戦

第63回関西地区大学準硬式野球選手権大会
優勝 第63回西日本大学準硬式野球選手権大会

第63回関西地区大学準硬式野球選手権大会
優勝 第63回西日本大学準硬式野球選手権大会

会への出場権獲得

● **日本拳法部**

第15回西日本学生拳法選手権大会
男子団体 優勝(3年ぶり2回目)

第24回全国大学選抜選手権大会
男子団体 優勝(初優勝)

● **バレーボール部**

第60回黒鷲旗
全日本男女選抜バレーボール大会 出場
優勝(9年ぶり17回目)

● **芸工**

第43回毎日・DAS学生デザイン賞
服飾部門入選 江成選(アソシヨン・デザイン学科4年)

クラフト部門入選 岩本紀羽(造形表現学科4年)

● **大阪女子短大**

関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦
3部 2位 入れ替え戦の結果 2部昇格

関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦
3部リベロ賞 新田未来(人間健康学科2年)

● **バスケットボール部**

第64回全国高等学校バスケットボール選手権大阪府予選 準優勝 インターハイ初出場

● **大商大高校**

本学園における個人情報の取扱いについて

性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

第4回高野山競技大会
特別賞
南山賞
高橋彩花(3年)
高野山協会賞
松田彩(3年)
青山千里(2年)

第六章 人事激励与员工行为管理



大商大高校バスケットボール部 インターハイ初出場

A group of people in white karate uniforms are sitting on a blue mat. A man in a suit is standing behind them, possibly a judge or official. The background shows a dark room with some equipment.

第10回大阪高等学校春季日本拳法大会(第56回国高等学校日本拳法選手権大会大阪府予選会)女子団体の部 準優勝
男子団体の部 3位 全国大会出場
第15回西日本高校日本拳法選手権大会
男子有段個人の部 3位 徳野勇喜(3年)
女子個人の部 準優勝 中道歩未(3年)
柔道部
全日本ジュニア柔道体重別選手権大阪府予選
55kg級 3位 塩谷友規(2年)
● 大阪市立大阪学園

硬式野球部

平成23年春季近畿地区高校野球大会大阪府予選
準優勝 3位

- ハンドボール部
- 第66回高校春季総合体育大会(兼第62回インター
ハイ予選大会) 3位
- ウエイトリフティング部
- 第66回大阪高等学校総合体育大会ウエイトリフティ
ング競技大阪大会(兼全国大会兼近畿大会大阪府
予選会)
- 第66回大春春季ウエイトリフティング選手権大会
(兼第66回国民体育大会近畿ブロック大会ウエイ
トリフティング競技選考会兼国民体育大会大阪府
代表・次選考会)
- 56kg級 3位 辻中秀斗(3年)
- 56kg級 3位 日本拳法部

学校法人谷岡学園収支計算書 平成22年度決算

平成22年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び消費収支内訳表は次のとおりです。

3

貸借対照表について

貸借対照表は、平成23年3月31日現在の財政状況を示しています。

貸 借 対 照 表

平成23年3月31日

		(単位:円)
■ 資産の部		
科 目	本 年 度 末	
固 定 資 産	55,064,262,950	
有形固定資産	43,087,179,732	
土 地	14,589,123,591	
建 物	21,642,927,700	
建設仮勘定	300,207,486	
その他の有形固定資産	6,554,920,955	
その他の固定資産	11,977,083,218	
流 动 資 産	9,446,234,973	
現金預金	7,951,650,732	
その他の流動資産	1,494,584,241	
資 産 の 部 合 計	64,510,497,923	
■ 負債の部		
科 目	本 年 度 末	
固 定 負 債	4,387,029,839	
長期借入金	1,712,000,000	
その他の固定負債	2,675,029,839	
流 动 負 債	1,786,923,553	
短期借入金	29,250,000	
その他の流動負債	1,757,673,553	
負 債 の 部 合 計	6,173,953,392	
■ 基本金の部		
科 目	本 年 度 末	
第1号基本金	63,944,473,133	
第2号基本金	0	
第3号基本金	200,000,000	
第4号基本金	725,000,000	
基 本 金 の 部 合 計	64,869,473,133	
■ 消費収支差額の部		
科 目	本 年 度 末	
翌年度繰越消費支出超過額	6,532,928,602	
消費収支差額の部合計	△6,532,928,602	
科 目	本 年 度 末	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	64,510,497,923	

△はマイナスを意味します。

1

資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他の対応するすべての収支内容並びに次年度繰越支払資金を明らかにしたものであります。

資 金 収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

■ 収 入 の 部		(単位:円)	■ 支 出 の 部	(単位:円)
科 目	決 算	科 目	決 算	
学生生徒等納付金収入	9,361,614,448	人件費支出	7,018,661,339	
手数料収入	184,955,817	教育研究経費支出	2,390,067,249	
寄付金収入	84,632,898	管理経費支出	1,090,295,369	
補助金収入	1,999,850,055	借入金等利息支出	8,500,503	
資産運用収入	133,429,161	借入金等返済支出	29,250,000	
資産売却収入	900,561,500	施設関係支出	2,134,622,552	
事業収入	200,416,567	設備関係支出	332,613,810	
雑収入	259,254,160	資産運用支出	1,222,972,659	
借入金収入	1,570,000,000	その他の支出	1,148,508,143	
前受金収入	1,139,262,960	資金支出調整勘定	△429,664,367	
その他の収入	1,103,647,302	次年度繰越支払資金	7,951,650,732	
資金収入調整勘定	△1,574,134,871	支 出 の 部 合 計	22,897,477,989	
前年度繰越支払資金	7,533,987,992			
収 入 の 部 合 計	22,897,477,989			

△はマイナスを意味します。

2

消費収支計算書について

消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入、基本金組入額、消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものであります。

- 帰 属 収 入 学校法人の負債とならない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、雑収入等が含まれます。
- 基 本 金 組 入 額 学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するために、維持すべきものとして帰属収入のうちから組入れた金額です。
- 消 費 支 出 教育・研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので人件費、教育研究経費、管理経費等が含まれます。

消 費 収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

■ 収 入 の 部		(単位:円)	■ 支 出 の 部	(単位:円)
科 目	決 算	科 目	決 算	
学生生徒等納付金	9,361,614,448	人件費	7,064,089,744	
手数料	184,955,817	教育研究経費	3,458,555,789	
寄付金	97,906,714	管理経費	1,195,421,323	
補助金	1,999,850,055	借入金等利息	8,500,503	
資産運用収入	133,429,161	資産処分差額	40,912,759	
資産売却差額	8,052,884	徴収不能引当金繰入額	4,271,000	
事業収入	200,416,567	消費支出の部合計	11,771,751,118	
雑収入	270,303,237	当年度消費支出超過額	230,604,703	
帰属収入合計	12,256,528,883	前年度繰越消費支出超過額	6,302,323,899	
基本金組入額合計	△715,382,468	基本金取崩額	0	
消費収入の部合計	11,541,146,415	翌年度繰越消費支出超過額	6,532,928,602	

△はマイナスを意味します。

決算の主な概要

(1) 資金収支計算書

収入の部では、学生生徒納付金収入が93億6,161万円と前年比で1億4,151万円の増加となりました。寄付金収入は、特別寄付金及び一般寄付金の収入があり合計8,463万円となり、前年比で2億1,444万円減少となりました。私立大学等経常費補助金などの国庫補助金収入及び地方公共団体補助金収入の補助金収入が19億9,985万円となり、前年比で8,347万円増加となりました。資産運用収入では、受取利息配当金収入等が前年比で1,799万円の減少となりました。また、資産売却収入は、有価証券(事業債)の満期償還及び学園所有物件の売却により、合計9億56万円となりました。事業収入は、主に受託事業収入及び補助活動収入等で2億42万円となり、前年比で218万円減少となりました。なお耐震補強工事及び校舎新築工事等の実施に伴い、借入金収入が15億7,000万円となりました。

支出の部では、人件費支出が70億1,866万円となり、前年比で4億205万円増加しました。教育研究経費支出は、奨学費等にかかる経費が前年比で2億6,056万円増加し、23億9,007万円となりました。管理経費支出は10億9,030万円で、前年比で1億5,859万円減少しました。施設関係支出は、耐震補強工事及び校舎新築工事等で21億3,462万円となりました。設備関係支出では教育研究用機器備品等の購入で3億3,261万円となりました。資産運用支出は、12億2,297万円で減価償却引当特定資産への繰入支出等であり、前年比で4億4,786万円の減少となりました。結果、次年度繰越支払資金は79億5,165万円となりました。

(2) 消費収支計算書

収入の部では、帰属収入合計が122億5,653万円、前年比10億1,042万円の減少となりました。基本金組入額合計は、主に耐震補強工事及び校舎新築工事に係るもので、合計△7億1,538万円の組入を行なうこととなりました。結果、消費収入の部合計は、115億4,115万円となりました。

支出の部では、資産処分差額において、教育研究用機器備品の廃棄及び図書の除却等が4,091万円となりました。結果、消費支出の部合計は117億7,175万円となり、当年度の消費支出超過額は2億3,060万円となりました。前年度からの繰越消費支出超過額が63億232万円ですので、翌年度繰越消費支出超過額は、65億3,293万円となりました。また、当年度の帰属収支差額は4億8,478万円で帰属収支差額比率は4.0%となりました。

各校の主な予定(8月～11月)

8/1(月)～3(水)	キャリアアッププログラム修了作品展(芸工大)
8/6(土)	第15回起業教育研究会連携イベント 「大阪企業家ミュージアム見学とミニ鬼瓦づくり体験ソーラー」(大商大)
	国際犯罪学会第16回世界大会シンポジウム 「キャンプと犯罪れて社会的コストカジノ合法化にまつわる問題点」(大商大)
8/6(土)～7(日)	学園夏祭り参加(芸工大)
8/7(日)	夏期親子教室(芸工大) 第15回起業教育研究会(大商大)
	大阪府中学生サマーセミナー(大商大)
8/13(土)～14(日)	私学展(商高&堺高&短高)
8/20(土)	大学院公開講座「大阪発 地域が元気でありつづけるために 一元気の素(もと)とその効能を探る」(大商大)
8/21(日)	商業史博物館主催「親子で拓本を作ろう」(大商大)
8/30(火)	地域交流:みんなのひろば・映画会(至学館大学附属幼稚園)
9/3(土)	グリーンセミナー 後期説明会＆フェスタ(大阪女子短大) 夕涼み会(大商大附属幼稚園)
9/13(火)～14(水)	カジノ・デベロップメント＆マネジメント講座(大商大)
9/14(水)	敬老会(大商大附属幼稚園)
9/16(金)	スイーツコンテスト(大阪女子短大)
9/17(土)～18(日)	緑涼祭(文化祭)(大阪女子短大高校)
9/21(水)	前期学位記授与式(大商大) 前期学位記授与式/後期入学式(芸工大)
9/22(木)～10/14(金)	関根伸夫氏作品公開(芸工大)
9/22(木)	緑涼祭(体育祭)(大阪女子短大高校)
9/23(金)	文化祭(至学館高校) うんどうかい(至学館大学附属幼稚園)
9/24(土)	前期学位記授与式(大阪女子短大)
9/25(日)～26(月)	文化祭(大商大堺高校)
9/26(月)	関根伸夫氏の公開講座(芸工大)
10/2(日)	文化祭(大商大高校)
10/8(土)	運動会(大商大附属幼稚園)
10/9(日)～10(月)	芸工祭(芸工大)
10/9(日)	フリーマーケット(大商大)
10/12(水)	学長褒賞式(大商大)
10/15(土)～16(日)	大学祭(至学館大/短大部)
10/15(土)	園庭開放(大商大附属幼稚園)
10/22(土)～29(土)	院研究発表会作品展示(芸工大)
10/22(土)	あきまつり(至学館大学附属幼稚園)
10/28(金)～30(日)	御厨祭(大商大)
10/28(金)	第4回大商大ビジネス・アイディアコンテスト ファイナルプレゼンテーション・表彰式
10/29(土)	平成23年度国際シンポジウム 「東アジアにおける経済協力の進展と『取り残される』日本」(大商大)
11/5(土)～6(日)	虹色祭(大阪女子短大)
11/5(土)	商幼祭(大商大附属幼稚園)
11/19(土)	収穫感謝祭/保護者会バザー(大商大堀高校)
11/20(日)	朗読劇特別公演「文学を聴くIV」(大商大)
11/21(月)	ミニコンサート(大商大附属幼稚園)

●大商大ミュージアムセミナー

「見立ての美学—露店市の楽しみー」 9/7、9/21、10/5

●大商大スライドカルチャー

「お金の日本史」 9/10、9/17、9/24、10/1、10/8、10/15、10/22、11/5、11/12、11/19

●大商大附属幼稚園子育てサロン

9/28、11/30

●至学館大学附属幼稚園子育て支援:わいわいランド

8/24、9/28、10/18、11/28

●各校オープンキャンパス等の日程

・大商大	8/6、8/22、8/28、9/11
・芸工大	8/7、8/21、9/25
・大阪女子短大	8/6、8/21、9/17、10/16
・大商大高	8/27、10/22
・大商大堀高	9/17、10/8
・大阪女子短大高	9/10、10/22、10/29
・至学館大/短大部	8/13、9/18
・至学館高	8/25、26

●各校入試説明会等の日程

・大商大高	11/12、11/26、12/10
・大商大高デザイン講習会	10/22、11/12、11/26、12/10、12/22
・大商大堀高	11/12、11/26、12/3
・大阪女子短大高	11/12、12/3、12/10
・大商大附属幼稚園	9/10、9/21
・至学館高	10/29、11/13、12/4
・至学館大学附属幼稚園	9/5、9/12、9/21

各行事の詳細については各校のHPにてご確認ください。

Quality of Life

クオリティ・オブ・ライフ

産業医といふ仕事をご存知ですか？

◆産業医ってどんな仕事？

皆さんは「産業医」という言葉を聞いたことはあるでしょうか？一般的には「企業のなかで、労働者が健康で快適な環境で仕事できるよう、専門的立場から指導・助言をする医師」と定義されており「労働安全衛生法」という法律で定められています。分かりやすくイメージすると、昔で言う「校医さん」みたいなものと思って下さい。

産業医の具体的な職務としては以下のものが挙げられます。

1. 健康診断の実施とその結果に基づく措置
2. 作業環境の管理と改善
3. 作業の管理
4. 上記以外の健康管理に関すること
5. 健康教育、健康相談
6. 衛生教育
7. 健康障害の原因調査、再発防止の措置
8. 少なくとも月一回の職場巡回

産業医の職務内容は健康障害の予防と労働者の心身の健康保持、増進に資することを目的とした広い範囲にわたるもので、以前は、工場などの劣悪環境から従業員を守る現場指導者としての色合いが強かったのですが、近年の産業構造の変革、労働者の高齢化、IT技術の進展、過重労働問題等の社会情勢の変化などに伴いその業務内容も変化してきており、特に最近ではメンタルヘルス領域の業務比重が高まっています。

◆一般のお医者さんとの違いは？

基本的に一般的な医師と患者の間には治療契約が存在し、主治医は患者の生命と健康を最優先に治療を行います。すなわち主治医が目指すのは日常生活レベルの回復、つまり退院して家で暮らせるようになります。しかしながら、産業医は社員との直接の契約関係ではなく、事業主と業務契約を結び、会社が安全配慮義務を果たす手伝いをしています。そのため、産業医が目指すのは就業可能レベルの回復、つまり社員が元気に働けるようにすることとなります。とはいえ、現実はそれほど厳密ではなく、例えばあなたが職場で嘱託産業医に相談をしたとして、同じ医師が院長や診療所長を務める病院やクリニックを受診すれば、その医師は普通のお医者さんと同じく診察、治療をしてくれるでしょう。

◆最後に…

産業医は一般的な医学の知識のみならず、作業現場、関係法規、行政制度などに精通し、職務の遂行にあたることが必要とされます。しかしながら、実際には医師の能力のみで完結できる業務は比較的少なく、産業保健スタッフや事業所スタッフの協力無くしては解決できない場合が多くあります。私も周りの方々にもご協力して頂きながら、職務内容や事業場の諸事情等も勘案しつつ、適切に業務を遂行していきたいものです。

編集室コラム

「人の性格や考え方は、本当に千差万別やなあ。オモシロイ！」

生活する中で色々な人と接し、日々このように思います。(仕事でもプライベートでも。)

昨年1年間東京へ出向させていただき、(財)日本高等教育評価機構で仕事をしました。

違う職場で働く人との新たな出会いは新鮮で楽しく、同時に「ああ、ワタシってなんて狭いのだろう！」と、自分の視野や考え方の狭さ、知識の乏しさを痛感した1年間でもありました。貴重な経験をさせていただき本当に感謝しています。人間的に(体格的にも?)、ちょびっとだけでも大きくなれただしようか…。

人間、違った両親から生まれ、違った環境、仕事、立場で生きていたら、考え方が異なっていて当たり前。それは、4月に法人本部に配属となり、大学と法人の感覚の違いとしても感じています。

でも、同じ組織で働いているのだから、最終的な目標は同じ…(はずですよね?)。自分の周りで働く同僚と、上司・先輩・後輩と、楽しく切磋琢磨して事ができたら…。「よし、この気持ちを大切にするぞ！」と、暑苦しくも思うのでした。(8)

学校法人 谷岡学園

TEL:06-6781-0385

大阪商業大学
神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学
大阪商業大学高等学校
大阪商業大学堀高等学校
大阪女子短期大学高等学校
大阪商業大学附属幼稚園

<http://ouc.daishodai.ac.jp/>
<http://www.kobe-du.ac.jp/>
<http://www.owjc.jp/>
<http://www.daishodai-h.ed.jp/>
<http://www.shodaisakai.ac.jp/>
<http://www.osakajyosi-h.ed.jp/>
<http://www.shodai-kids.ed.jp/>

学校法人 至学館

TEL:0562-46-1291

至学館大学
至学館大学短期大学部
至学館高等学校
至学館大学附属幼稚園

<http://www.skg.ac.jp/>
<http://www.skg.ac.jp/>
<http://www.shigakukan-h.ed.jp/>
TEL:0562-46-1294

